

中山小学校 沿革(主なもの)

明治 6年 日新学校(後に埴原学校と称す)・和泉学校創立。

7年 盛徳学校開校。

18年 中山原にて運動会開催される。

19年 豊丘学校を本校とし、埴原と二山の支校を設置。

22年 豊丘学校より分離し、埴原尋常小学校成立。

25年 中山尋常小学校と校名変更。和泉・神田は分教となる。

33年 村会で新校舎建設の決議。高等科を設置し、中山尋常高等小学校となる。

35年 新校舎、現在の位置に移転落成し竣工式。

41年 運動会に70歳以上の高齢者を招待する。

44年 読方、綴方、話方、唱歌、遊戯などの学芸会実施。赤痢発生1週間休業。

大正 2年 高等科1・2年 伊勢へ修学旅行。

4年 校旗製作。雨天体操場竣工。

11年 海軍記念日に全校鉢伏山登山。

昭和 4年 南校舎・校庭・奉安殿の落成式開催。

5年 不況につき修学旅行中止。世界大恐慌(1930年)の時代。

6年 考古室設置。

12年 防空演習を行う。

13年 県知事が学校視閲のために来校。保育所開設。

14年 尋常3年以上、薬草採集実施。

16年 中山国民学校となる。

18年 神田地区、松本市に合併。神田分教場廃止。

20年 弁当持参困難状況調査(困難者 258名 差し支えなし 207名)

22年 中山村立中山小学校となる。新制中学校開校式。

23年 PTA結成、総会開催。児童会発会式。

24年 校章ができる。

29年 中山村が松本市と合併し、松本市立中山小学校となる。

33年 開校70周年記念。校歌制作発表会。

44年 校舎新築落成。開校80周年記念。埴原学校絵図が学校に寄贈される。

58年 南校舎竣工記念式典。

平成 元年 校舎全面新築竣工記念式典。開校100周年記念式典。

3年 管理棟と南校舎増築。

4年 校庭拡張工事完了。

7年 プール完成。小プールが新設される。

11年 開校110周年記念式典。

14年 トイレ改修工事。

18年 松本市幼年教育研究公開保育・公開授業(中山保育園と合同)

19年 学校東側通学道路の拡幅概念図完成。具体化の運びとなる。

20年 開校119年目。120周年記念事業計画の具体化。

21年 開校120周年親子観劇会実施。トマト座による「オズの魔法使い」

新型インフルエンザによる学級閉鎖のため、120周年記念音楽会・記念式典中止。

22年 教育課程研究協議会「体育」を公開。

環境整備(水車作成、中庭の池循環器作成、わくわくランド:砂場作り)

東北関東大地震多くの方が被災。6月30日松本でも震度4の地震。幸い被害なし。

道路拡幅工事1期終了

23年 道路拡幅工事2期終了

24年 道路拡幅工事3期終了 体育館ステージ天井耐震補強工事

25年 教育課程研究協議会「算数科」公開授業2年生。

第64回松本市PTA連合会研究協議大会会場校

『子どもとともに成長しよう』～子ども達の笑顔のために～

26年 PTA文化委員会年度末で廃止。

PTA新聞『みまき』・講演会事業は、理事会に引き継がれる。「安心メール導入」

27年 教育課程研究協議会「特別活動」公開授業4年生。

28年 4年生、6年生による中山のPR活動(松本城・JR松本駅)

松本市東部ブロック人権教育研究会。「人権教育」公開授業2年生。

29年 「ひろばまつり」「地区大運動会(雨天中止)」「地区文化祭」に高学年希望者がスタッフとして参加。
地域に働きかける活動を始める。

30年 教育課程研究協議会。「国語科」公開授業4年生。

令和元年 開校130周年。130周年記念音楽会実施。

新型コロナウイルス感染症拡大にともなう臨時休業(3/2～3/18)

2年 新型コロナウイルス感染症拡大にともなう臨時休業(4/9～5/21)、分散登校(5/22～5/29)。

6/1より全校登校開始。信濃教育会全県研究大会「社会科」会場校。公開授業6年生。

3年 PTA学年委員会と施設厚生委員会を統合し、学年・施設厚生委員会でスタートする。

教育課程研究協議会「道徳科」オンラインによる授業公開 5年生。

新型コロナウイルス感染症拡大にともなう全校臨時休業(1/24・25)

新型コロナウイルス感染症拡大にともなう学級閉鎖 2・4年(2/18)2年(3/8・9)